p115-実現された剰余価値は、資本化を予定されていても、…過程進行中の資本価値の循環に入る大きさに機能しうる大きさに、…いくつかの循環の反復によって初めて成長しうる（※積み立てが必要）。→退蔵貨幣、潜在的貨幣資本を形成する。

この貨幣退蔵は、資本主義的蓄積過程に含まれる…

p116-貨幣が支払い手段として機能するならば、資本化を予定された剰余生産物は、貨幣に転化されるのではなく…債権に、所有名義に転化される。

p117-定式を複雑にしないためには、剰余生産物が蓄積されるものと仮定する。

→すると生産資本の循環（拡大再生産）の定式は以下のようなになる。

$P \cdots W' - G' - W' < \begin{matrix} A \\ \cdots P' \\ P_m \end{matrix}$	…その第二の循環を開始する。
---	----------------

p118-119

- ・ P' は第一の P' はよりも大きい生産資本である。
- ・ P' が表現していることは、剰余価値が生産されたということではなく、生産された剰余価値が資本化され、したがって資本が蓄積されたということであり、
- したがって P' は、P' とは異なり、元来の資本価値に、この運動によって蓄積された資本の価値を加えたものからなる

p121-122 下記図式の段階では

$G' - W' < \begin{matrix} A \\ \cdots P' \\ P_m \end{matrix}$

- ・ 膨張した大いさは W' によってのみ示される。
- ・ (大きさを)「A' と P m'」という記号で示すのは誤り。

◎資本の増大には資本の価値構成の変化が結びついていて、この変化の進行とともに P m の価値は増大するが、A の価値は、絶えず相対的に減少し、しばしば絶対的にも減少するからである。